



IAOIA Mission

国際酸化アンチモン協会の使命は、アンチモン物質及びその用途における環境、健康、安全規制問題について、世界中のアンチモン生産者、消費者、その他関係者の共通の利益に貢献することである。

IAOIA の活動は会員により決定され、アンチモン物質の安全性及び有用性に関する研究の実施、情報の普及、政府当局に提出する化学情報の作成などからなる。

IAOIA Press Release

三酸化アンチモンの違法輸入問題、6月26-27日 EU委員会会合で協議へ

家具用繊維製品や電子製品用プラスチックの難燃助剤、そしてポリエステル製造の触媒などとして使用される金属物質である三酸化アンチモンは、現在、欧州で、EU 既存化学物質規制に基づくリスクアセスメントが実施されている。このリスクアセスメントは、三酸化アンチモンが健康や環境に及ぼす潜在的な影響を分析するために実施されているものである。欧州で販売活動を行っている全ての生産者は、必要なアセスメント試験に参加する必要がある。EU の産業界は IAOIA を通じてこの作業に協力しており、規制当局に情報を提供し、求められている中立的な科学研究に着手している。三酸化アンチモンのリスクアセスメントを担当しているスウェーデン当局は、今年 5 月、第一次リスクアセスメント報告書案を 9 月までに公表することを決定した。従って、12 月には審議が開始されることになる。

IAOIA は EU 当局のアセスメント作業を支援すべく、毒性や曝露試験に資金提供をしている。水生生物試験結果は、「有害または危険」の警告を必要としない EU ラベリング基準に該当する。継続中の健康評価や曝露分析

によれば、アンチモンは胎児の成育には有害ではなく、また、最終消費財からの曝露の可能性はほとんどないが、皆無であることが明らかにされている。

EU は、科学的データの裏付けのない三酸化アンチモンは欧州で売買されてはならないとの考え方を示している。三酸化アンチモンの生産者と欧州への輸入業者は、そうしたデータを創出し、将来とも欧州統合市場への参入を確保するために、リスクアセスメント試験計画に貢献すべきである。ほとんどの生産者は、IAOIA を通じて EU の法律の要求に従っている。しかしながら、三酸化アンチモンの大部分を生産し、世界市場の 50% を占める中国はリスクアセスメントに貢献しておらず、中国からの輸入業者は届出要請にも必ずしも応じていない。EU 委員会は科学的データの裏付けがなく、従って違法な三酸化アンチモンの輸入問題を、6月26-27日にアテネで開催されるメンバー国会議で協議する予定である。

国際酸化アンチモン協会(IAOIA)は EU リスクアセスメントに先導的な役割を担う公式の業界団体であり、EU 当局が必要とするデータを確実に創出するために、コストを分担する全てのアンチモン業界関係者に有効な媒体を提供することを目的としている。

詳細情報については、David Sanders 会長(+1-765-497 6319)または Karine Van de Velde 事務局長(+32-14-60 15 78)にお問い合わせ下さい。

IAOIA Organization and Contacts

Function	Name	e-mail	Phone
Chair	Dave Sanders	dsanders@glcc.com	+ 1 765/497 6319
Vice-chair	Geert Krekel	geert.krekel@campine.be	+ 32 14 601 507
Treasurer, Newsletter / Website	Tom Bellanti	Tom_Bellanti@oxy.com	+ 1 281/461 6588
Secretary General	Karine Van de Velde	Karine.vandevelde@campine.be	+ 32 14 601 578
Toxicologist	Tessa Serex	tserex@glcc.com	+ 1 765/497 6637
Chair JMIA	Osamu Iwayama	iwayama@nihonseiko.co.jp	+ 3 3235 0031

EU Risk Assessment Update

ATO のリスクアセスメントの担当者である KemI (スウェーデンの政府環境研究所) は、リスクアセスメントドラフトの公開を 2003 年 6 月から 2003 年 12 月に延期した。従って、全ての加盟国によるリスクアセスメントドラフトの詳細な議論は、2004 年 3 月に持ち越されることになる。

IAOIA は、藻とバクテリアの阻害研究に加えて、土壌及び底質に居住する生物についての研究も委託している。現在完成に近づいている研究としては、ラットを用いた奇形研究、そして、ATO を含む難燃剤で処理した家具用繊維製品に対する消費者曝露の可能性を評価する研究がある。これらの研究の予備実験の結果によれば、ATO は成育段階の胎児に対して有毒ではなく、そして最終消費者が使用する製品からの曝露の可能性はほとんどないか、皆無であることが明らかにされている。IAOIA は、この夏より水性生物種における ATO の長期曝露による影響評価研究を始める予定である。それに加えて、我々は土壌及び底質に居住する生物に対して ATO が危険でないことをさらに確認するために、これらの生物における追加研究を考えている。

Studies in Progress

下記は、IAOIA が最近進めている研究リストである。これらの研究は、科学的決定に基づくべく我々の業界及び規制省庁によって要求される正確な定量データを提供する。

Study Title	Progress
窒素変換実験 Nitrogen transformation test	研究は完成し担当者に提出されている。結果：三酸化アンチモンは土壌中の生物の窒素変換活動を抑制することはない。
ヒメミズズの生殖研究 (土壌に居住する貧毛類)	研究は完成し担当者に提出されている。結果：アンチモンは環境中に存在するレベルにおいて、土壌中の生物に対して有害ではない。
ヨコエビの 42 日間底質毒性研究 (底質に居住する単脚類)	研究は完成し担当者に提出されている。結果：アンチモンは環境中に存在するレベルにおいて、底質に居住する生物に対して有害ではない。
ミジンコの 21 日間生殖研究 21-Day Daphnia Reproduction Study	研究は開始され、2003 年 9 月に結果が報告される予定である。この研究は、水生の無脊椎動物に対するアンチモンの影響を調査するものである。
奇形研究 Teratogenicity study	誕生前段階の研究は完成している。予備実験の結果によれば、三酸化アンチモンは母体が吸入曝露を受けても子宮で成育している胎児に対して有害ではない。
難燃消費財の曝露研究 FR Consumer Exposure Study	データ収集段階は完成している。予備実験の結果によれば、酸化アンチモンが難燃助剤として家具用に使用された時、消費者が経皮、経口、吸入による曝露を受けることは非常に少なく、この用途からの健康上のリスクの可能性はない。

The IAOIA Members

In the USA / Europe organization Members:

Campine
Great Lakes Chemical Company
Laurel Industries, Inc. (OxyChem)
Produits Chimiques de Lucette
Sica
Penarova Oxide Group

Associate Members

Albemarle Corporation
Dead Sea Bromine Group (DSBG)
Helm AG
Durr Marketing Associates, Inc.
Goldmann GmbH & Co
Consolidated Murchison / Metorex Ltd.

In the Japan Mining Industry Association Members:

日本精鉱株式会社
住友金属鉱山株式会社
三国製錬株式会社
東湖産業株式会社
日産化学工業株式会社

Associate Members

株式会社 鈴裕化学
第一エフアール株式会社

これらの企業は、アンチモン製品市場を守るために、政府機関への適切な対応及び信頼出来るデータの開発や提供などの活動に奮闘しています。活動費用や人的貢献はこれらの企業が分担しています。貴社は、これらの企業をビジネス相手として選択することによって、我々の業界を支援することになります。貴社がアンチモン製品の生産者、流通業者、消費者であり、こうした取り組みに貢献する意志がありなら、IAOIA、日本鉱業協会または会員企業にコンタクトして頂きたい。